

特 定 作 物 統 計 調 査

令和5年産小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の収穫量

— 小豆、いんげん及びらっかせいの収穫量は前年産に比べ減少 —

【調査結果の概要】

1 小豆

全国の小豆の収穫量は3万900 tで、前年産に比べ1万1,200 t（27%）減少した。
これは、主産地である北海道において、10 a 当たり収量が前年産を下回ったためである。

2 いんげん

全国のにんげんの収穫量は5,180 tで、前年産に比べ3,350 t（39%）減少した。
これは、主産地である北海道において、10 a 当たり収量が前年産を下回ったためである。

3 らっかせい

全国のらっかせいの収穫量は1万5,700 tで、前年産に比べ1,800 t（10%）減少した。
これは、主産地である千葉県において、10 a 当たり収量が前年産を下回ったためである。

表 令和5年産小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積、
10 a 当たり収量及び収穫量（全国）

区 分	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較						（ 参 考 ）	
				作 付 面 積		10 a 当たり 収 量	収 穫 量		10 a 当たり 平 均 収 量 対	10 a 当たり 平 均 収 量 対	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比			
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%		kg
小 豆	24,800	125	30,900	1,600	107	69	△ 11,200	73	65		193
い ん げ ん	5,870	88	5,180	△ 350	94	64	△ 3,350	61	69		127
ら っ か せ い	5,710	275	15,700	△ 160	97	92	△ 1,800	90	117		236

注：「（参考）10 a 当たり平均収量対比」とは、10 a 当たり平均収量（直近7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値）に対する当年産の10 a 当たり収量の比率である。

- 本調査は各作物の「乾燥子実」を対象に調査している。
- 「乾燥子実」とは、食用を目的に未成熟（完熟期以前）で収穫されるもの（さやいんげん等）を除いたものをいう。なお、らっかせいはさやつきのものをいう。

◎ 累年データ

小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の作付面積、
10 a 当たり収量及び収穫量の推移（全国）

区 分	小豆			いんげん		
	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量
	ha	kg	t	ha	kg	t
平成26年産	32,000	240	76,800	9,260	221	20,500
27	27,300	233	63,700	10,200	250	25,500
28	21,300	138	29,500	8,560	66	5,650
29	22,700	235	53,400	7,150	236	16,900
30	23,700	178	42,100	7,350	133	9,760
令和元	25,500	232	59,100	6,860	195	13,400
2	26,600	195	51,900	7,370	67	4,920
3	23,300	181	42,200	7,130	101	7,200
4	23,200	181	42,100	6,220	137	8,530
5（概数）	24,800	125	30,900	5,870	88	5,180

区 分	らっかせい		
	作付面積	10 a 当たり 収 量	収 穫 量
	ha	kg	t
平成26年産	6,840	235	16,100
27	6,700	184	12,300
28	6,550	237	15,500
29	6,420	240	15,400
30	6,370	245	15,600
令和元	6,330	196	12,400
2	6,220	212	13,200
3	6,020	246	14,800
4	5,870	298	17,500
5（概数）	5,710	275	15,700

資料：農林水産省統計部「作物統計」

【調査結果】

1 小豆（乾燥子実）

(1) 作付面積

全国の作付面積は2万4,800haで、前年産に比べ1,600ha（7％）増加した。

これは、主産地である北海道において、他作物からの転換等があったためである。

(2) 10 a 当たり収量

全国の10 a 当たり収量は125kgで、前年産を31％下回った。

これは、主産地である北海道において、生育初期から高温で経過したことで、着さや数が平年に比べ多かった一方、小粒傾向となったことに加え、登熟から収穫期にかけ降雨も多かったこと等で品質も低下したためである。

なお、10 a 当たり平均収量対比は、65％となった。

(3) 収穫量

全国の収穫量は3万900 tで、前年産に比べ1万1,200 t（27％）減少した。

なお、都道府県別の収穫量割合は、北海道が全国の94％を占めている。

図1 小豆の10 a 当たり収量及び収穫量（全国）

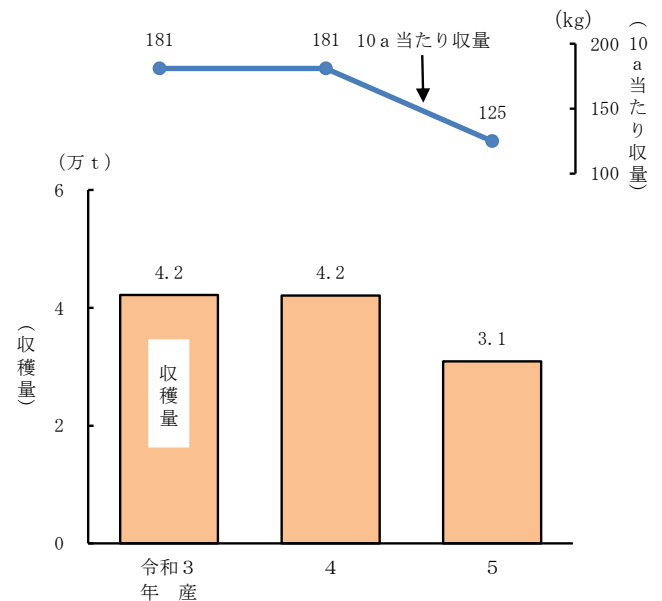
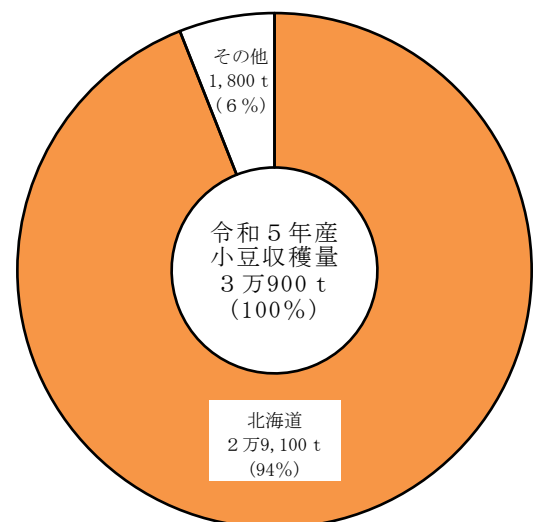


図2 令和5年産小豆の都道府県別収穫量及び割合（全国）



2 いんげん（乾燥子実）

(1) 作付面積

全国の作付面積は 5,870ha で、前年産に比べ 350ha（6％）減少した。

これは、主産地である北海道において、他作物への転換等があったためである。

(2) 10 a 当たり収量

全国の 10 a 当たり収量は 88kg で、前年産を 36% 下回った。

これは、主産地である北海道において、生育初期から開花期まで高温傾向で経過し生育はおおむね順調となり、着さや数が多く子実重は平年を上回ったものの、登熟期からの高温及び断続的な降雨等により品質が低下したためである。

なお、10 a 当たり平均収量対比は、69% となった。

(3) 収穫量

全国の収穫量は 5,180 t で、前年産に比べ 3,350 t（39%）減少した。

なお、都道府県別の収穫量割合は、北海道が全国の 95% を占めている。

図3 いんげんの 10 a 当たり収量及び収穫量（全国）

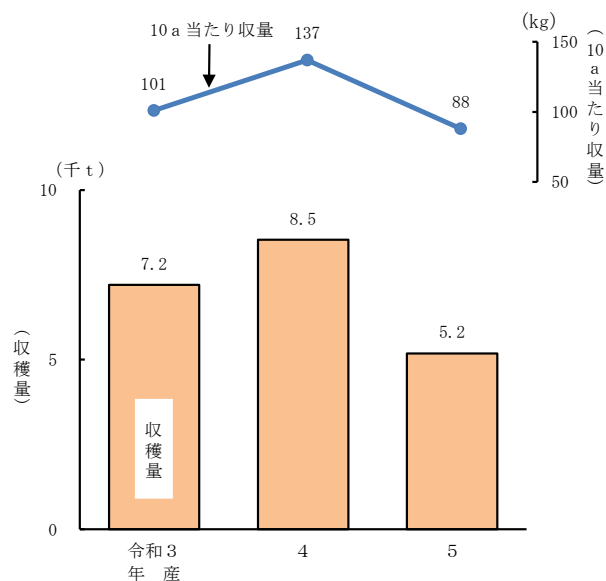
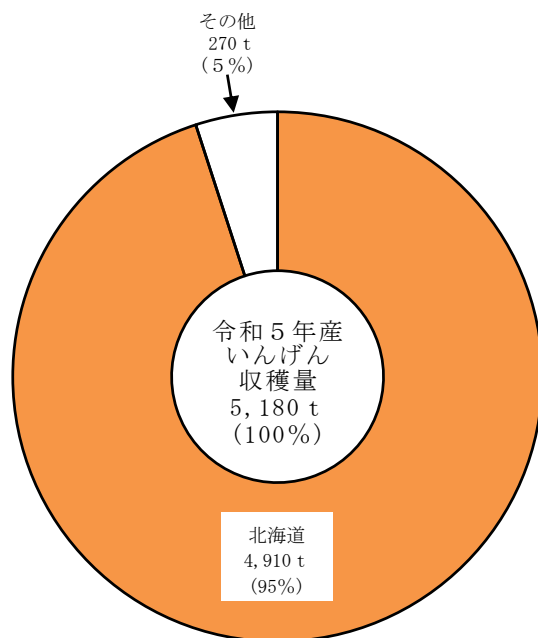


図4 令和 5 年産いんげんの都道府県別収穫量及び割合（全国）



3 らっかせい（乾燥子実）

(1) 作付面積

全国の作付面積は5,710haで、前年産に比べ160ha（3%）減少した。

(2) 10a当たり収量

全国の10a当たり収量は275kgで、前年産を8%下回った。

これは、主産地である千葉県において、おおむね天候に恵まれたものの、7月中旬以降の降雨が過少に経過したことで水分不足となり、空さやの発生や子実の充実不足が見られたことから、子実重の充実が良好であった前年産に比べ、10a当たり収量は下回った。

なお、10a当たり平均収量対比は、117%となった。

(3) 収穫量

全国の収穫量は1万5,700tで、前年産に比べ1,800t（10%）減少した。

なお、都道府県別の収穫量割合は、千葉県が全国の85%を占めている。

図5 らっかせいの10a当たり収量及び収穫量（全国）

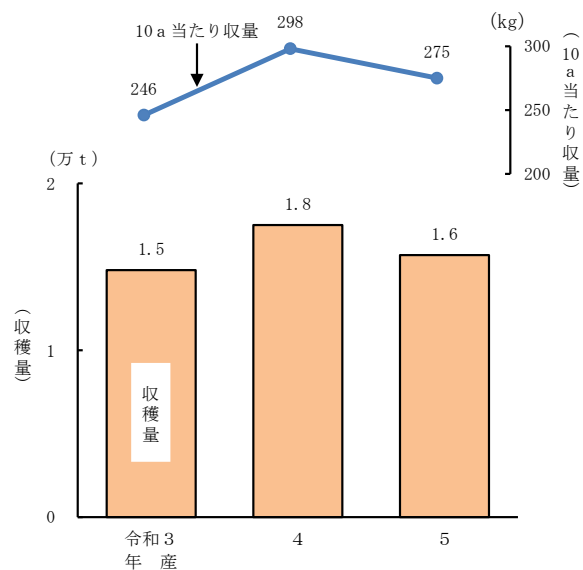
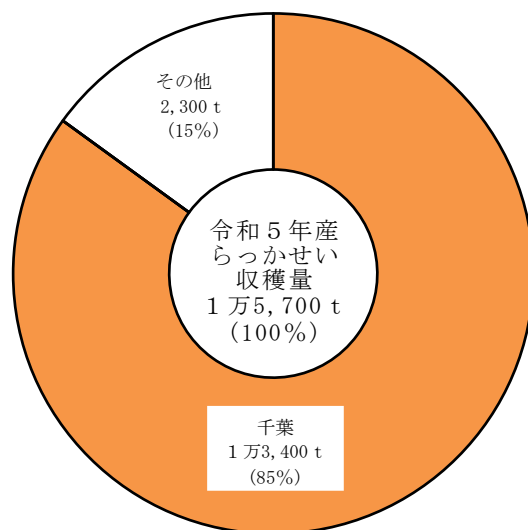


図6 令和5年産らっかせいの都道府県別収穫量及び割合（全国）



【 統計表 】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040143060&ext=xls>

【 調査の概要 】

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokutei_sakumotu/gaiyou/

【 調査結果の主な利活用 】

- ・ 小豆、いんげん及びらっかせいの関税割当数量の設定のための資料
- ・ 小豆、いんげん及びらっかせいに関する生産振興に資する各種事業の推進のための資料
- ・ 農業保険法（昭和22年法律第185号）に基づく畑作物共済事業の適切な運営のための資料

【 ホームページ掲載案内 】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「いも・雑穀・豆」の「特定作物統計調査」で御覧いただけます。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/tokutei_sakumotu/#y3
- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和6年6月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【 関連リンク 】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

<https://www.maff.go.jp/j/nousan/>

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3682

（直通）03-3502-5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>